

第103回保健師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

午前 第44問

次の文を読み44、45の問いに答えよ。

人口5万人の市。市の人口は平成20年度以降は変化はない。市はA、B及びCの3つの地区からなり、肺がん対策として検診の受診率の向上に取り組んでいる。市の肺がん検診は、平成26年度まではA地区の保健センターで行う集団検診のみであったが、平成27年度からはB地区にある病院でも検診を行っている。各地区の肺がん検診の受診者数および対象者数を表に示す。

表 市内各地区の肺がん検診の受診者数および対象者数(人)

	A地区		B地区		C地区	
	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数
平成20年度	2,400	8,000	3,100	10,000	500	2,000
平成27年度	3,100	8,000	4,900	12,000	600	2,000

44 市内の肺がん検診の状況について正しいのはどれか。

1. 検診実施施設が増えた後、市全体の検診受診率は増加した。
2. 検診を実施している病院がある地区の対象者数に変化はない。
3. 平成27年度の市全体の人口に占める検診対象者の割合は50%以上である。
4. 市全体の検診受診率は平成24年(2012年)のがん対策推進基本計画の目標値を上回っている。

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理由

設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。